

手外科シリーズ

16. キーンベック病 (月状骨軟化症)



監修
一般社団法人
日本手外科学会広報委員会



制作
エーザイ株式会社

16

キーンベック病 (月状骨軟化症)

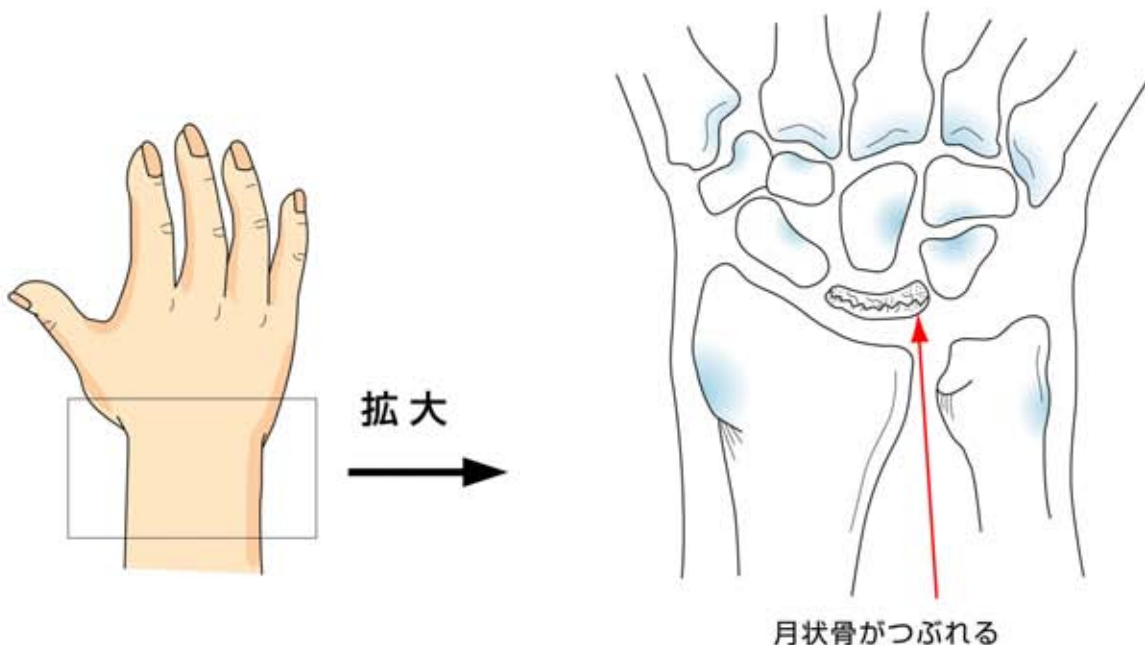
● 症状 ●

手を使った後、手首に痛みと腫脹が起こります。握力が低下し手首の動きが悪くなります。



● 原因・病態 ●

原因は不明ですが、月状骨（手首の真ん中にある骨）の血行障害により、月状骨がつぶれる病気です。手をよく使う青壮年男性に多く見られます。女性や高齢者に見られることもあります。

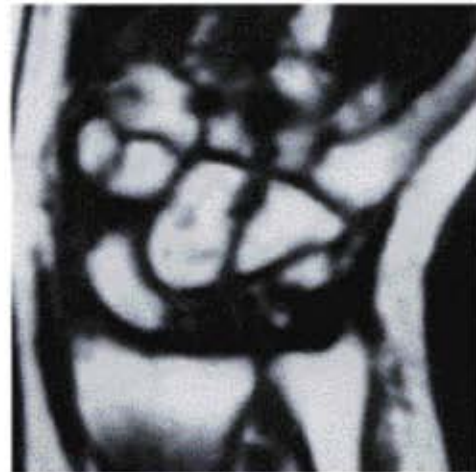


● 診断 ●

症状とレントゲン検査で月状骨の変形があれば、診断がつきます。MRI検査は早期診断に有用です。



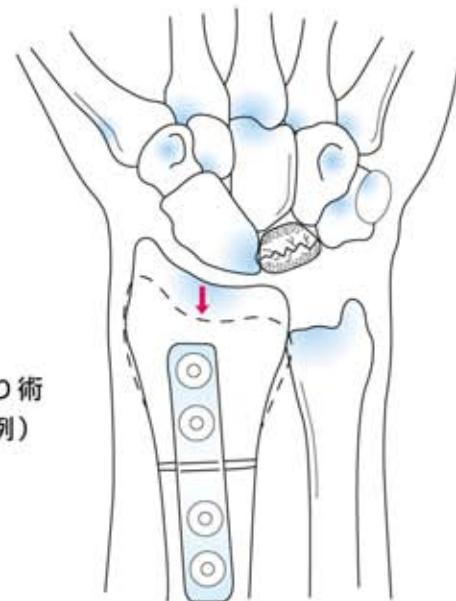
レントゲン写真



MRI

● 治療 ●

症状、年齢、変形の進み方によって治療法が異なります。保存療法として、手首を安静に保つためにギプスや装具による治療が行われます。手術療法が行われることがあります。



橈骨短縮骨切り術
(手術法の一例)